

第 3 回

玉名市景観計画策定委員会 資料

-課題と景観まちづくりの方向性-

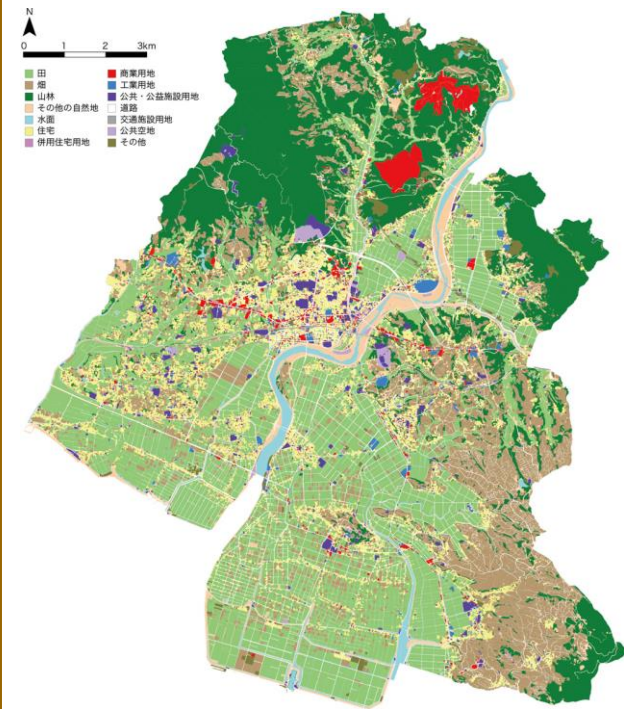
目次

【参考】景観特性・資源の振り返り.....	1
1 景観課題の整理	2
2 玉名市が目指す景観の姿と方針(案).....	3

【参考】景観特性・資源の振り返り（主な特性）

地勢

- 玉名平野は、小袋山系、金峰山系、木葉山に囲まれ、菊池川が縦断し、有明海に面している
- 干拓で耕地を広げ、市域面積の5割弱が田園となっている



アンケート

- 「良い景観」で上位の項目は、自然系景観と歴史的なまちなみ
 - ① 平野に広がる田園風景
 - ② 軒先や道路沿道が草花で彩られたまちなみ
 - ③ 歴史的な建造物・まちなみ
 - ④ 山並みへの眺望を大事にしたまちなみ
- 玉名らしい景観は、情緒豊かな温泉街がトップ。ほかには、田園、菊池川、有明海などの自然系景観と歴史的なまちなみが多い
- 守り育てるべき場所は、新玉名駅周辺、温泉街のまちなみ、裏川水際緑地、蛇ヶ谷公園、高瀬地区の歴史的なまちなみが多い

WS・景観学習会（良い点に対する主な意見）

【自然】

- 川、海、山すべての自然景観がある
- 二の岳、三の岳、小袋山の山並みや玉名平野や雲仙普賢岳の眺望が素晴らしい

【田園・果樹園】

- 干拓地に広がる田園風景がよい
- みかん畑の段々畑や石積みがすばらしい
- 自然の草花、動物、里地、里山の風景が残っている

【幹線道路沿道】

- 501号沿道は景観がよい
- 沿道の木、花がきれい、八嘉の国道沿道に花を植え景観が良い

【市街地】

- 高瀬裏川周辺がよい。歩いてみたくなるような景観
- 新玉名駅周辺に期待したい

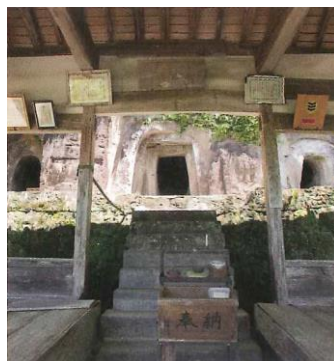
【歴史文化】

- 歴史的な史跡等が多い
- 干拓堤防と干拓地の景観がよい
- 神楽、にわか、節頭など、民俗芸能が多く残っている
- 各神社のまつりが続いている(小天、伊倉、繁根木など)



歴史

- 古代より大規模な集落が営まれ、玉名平野を取り囲むように古墳が残されている
- 菊池川の恩恵を受けながら、治水や干拓により穀倉地帯が生まれ、貿易により発展してきた



まちづくり活動

- 市民主体で景観に関わるまちづくり活動が行われている
- 古墳などの歴史的資源が、地域住民の手により守られている
- 崇城大学によるまちづくり活動が行われている



玉名らしい景観

玉名市にあらゆる恵を与えてきた菊池川の景観



小袋山や金峰山系が育む緑豊かな山林景観



美しい有明海と松原海岸の海浜景観



雄大な農地が広がる美しい田園景観



約330年もの長い年月をかけて築造された干拓地の文化的景観



夏目漱石も愛した、丘陵地帯の特性を生かした石積みのみかん畑の景観



商人のまちとして栄えてきた商店街と高瀬裏川の景観



1300余年の歴史を持つ玉名温泉と温泉街のまちなみ景観



新しい市街地形成が期待される新玉名駅周辺の景観



稜線が美しい山並みを望む玉名平野からの眺望景観



玉名平野を眼下に、遠景の雲仙普賢岳を望む絶景の眺望景観

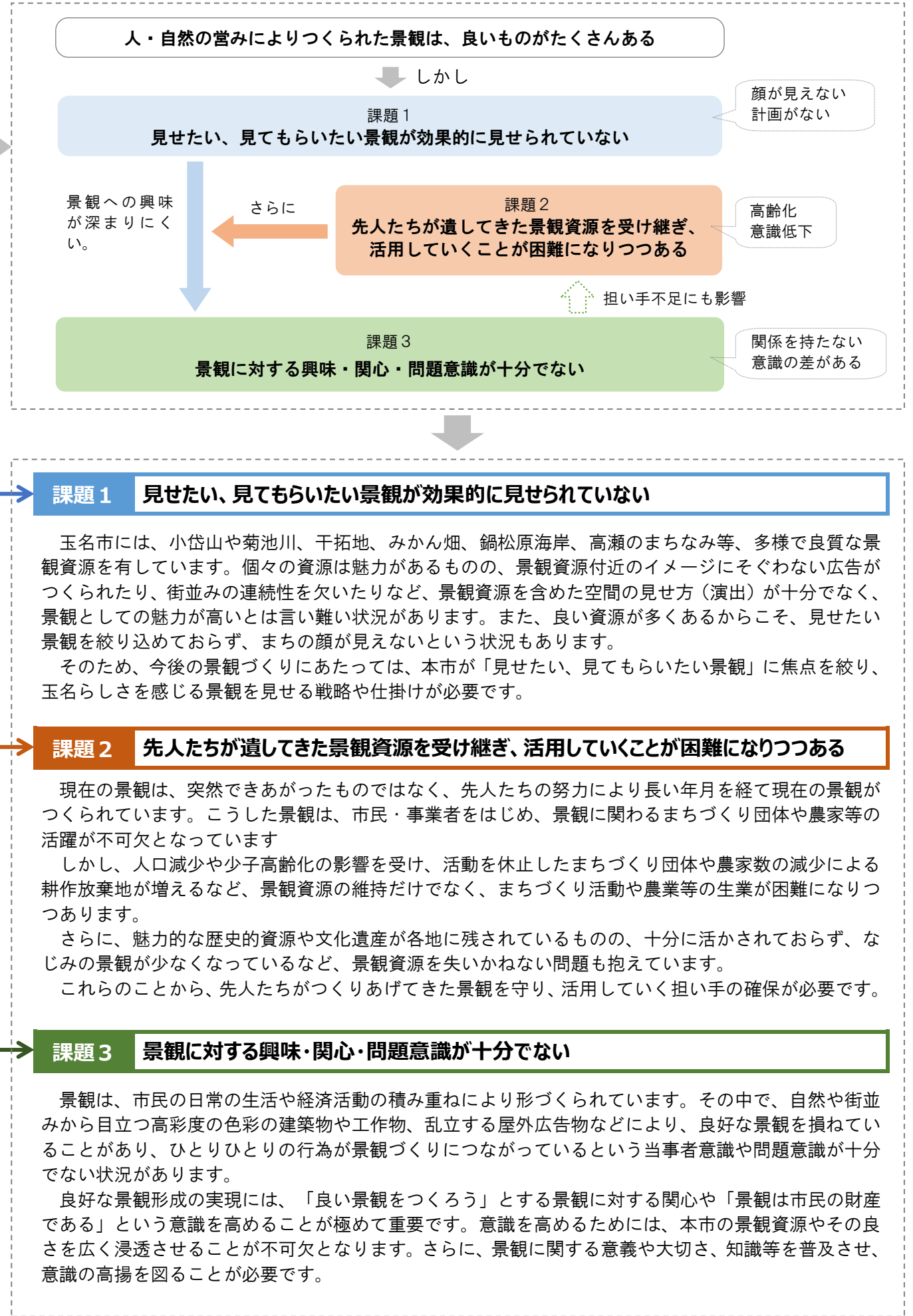
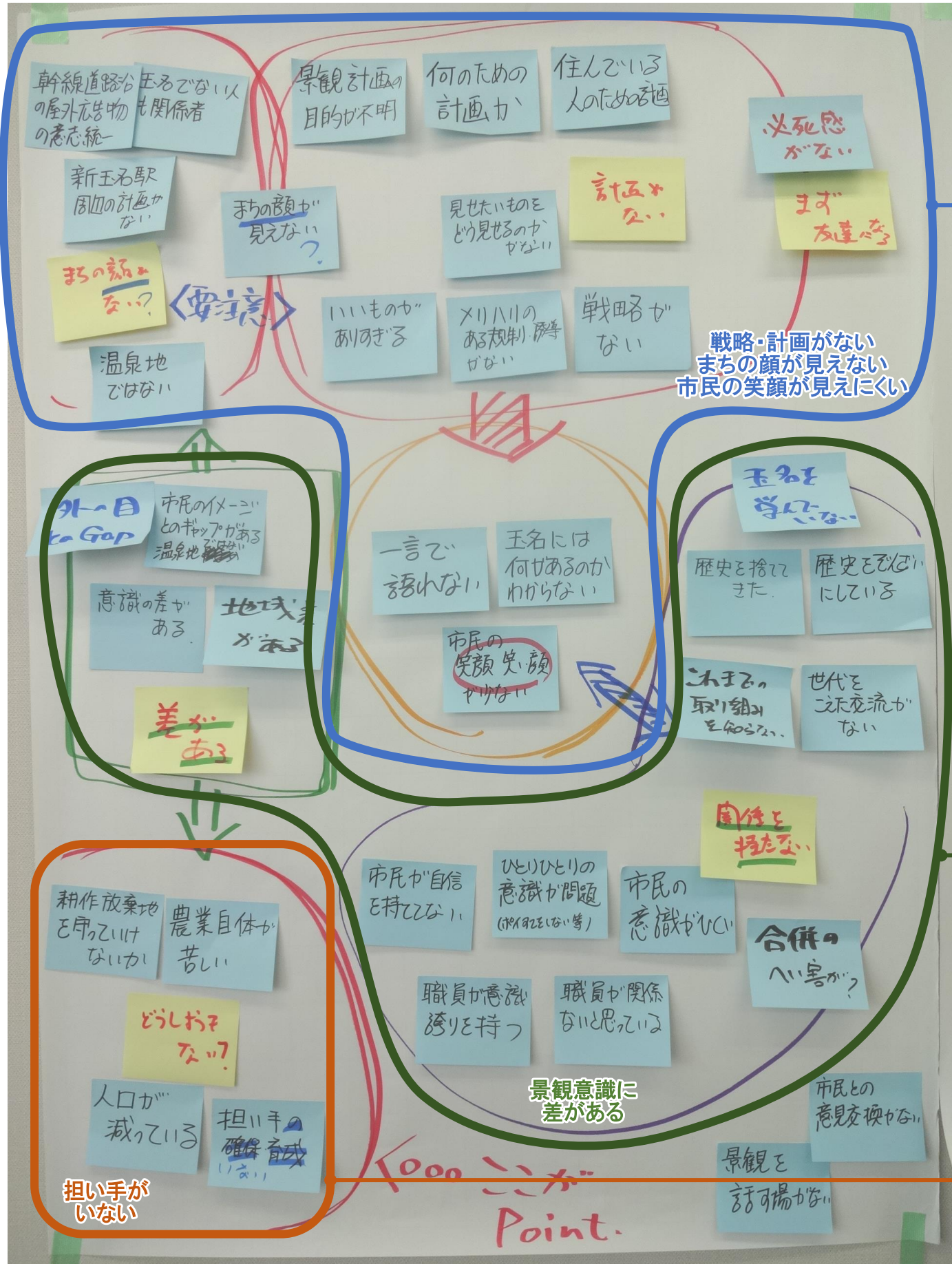


春夏秋冬の伝統行事による非日常の景観



1 景観課題の整理

■玉名市の現況・市民意向等を踏まえて第2回策定委員会にて整理された成果



課題1 見せたい、見てもらいたい景観が効果的に見せられていない

玉名市には、小岱山や菊池川、干拓地、みかん畑、鍋松原海岸、高瀬のまちなみ等、多様で良質な景観資源を有しています。個々の資源は魅力があるものの、景観資源付近のイメージにそぐわない広告がつけられたり、街並みの連続性を欠いたりなど、景観資源を含めた空間の見せ方（演出）が十分でなく、景観としての魅力が高いとは言い難い状況があります。また、良い資源が多くあるからこそ、見せたい景観を絞り込めておらず、まちの顔が見えないという状況もあります。そのため、今後の景観づくりにあたっては、本市が「見せたい、見てもらいたい景観」に焦点を絞り、玉名らしさを感じる景観を見せる戦略や仕掛けが必要です。

課題2 先人たちが遺してきた景観資源を受け継ぎ、活用していくことが困難になりつつある

現在の景観は、突然できあがったものではなく、先人たちの努力により長い年月を経て現在の景観がつけられています。こうした景観は、市民・事業者をはじめ、景観に関わるまちづくり団体や農家等の活躍が不可欠となっています。しかし、人口減少や少子高齢化の影響を受け、活動を休止したまちづくり団体や農家数の減少による耕作放棄地が増えるなど、景観資源の維持だけでなく、まちづくり活動や農業等の生業が困難になりつつあります。さらに、魅力的な歴史的資源や文化遺産が各地に残されているものの、十分に活かされておらず、なじみの景観が少なくなっているなど、景観資源を失いかねない問題も抱えています。これらのことから、先人たちが作りあげてきた景観を守り、活用していく担い手の確保が必要です。

課題3 景観に対する興味・関心・問題意識が十分でない

景観は、市民の日常生活や経済活動の積み重ねにより形づくられています。その中で、自然や街並みから目立つ高彩度の色彩の建築物や工作物、乱立する屋外広告物などにより、良好な景観を損ねることがあり、ひとりひとりの行為が景観づくりにつながっているという当事者意識や問題意識が十分でない状況があります。良好な景観形成の実現には、「良い景観をつくろう」とする景観に対する関心や「景観は市民の財産である」という意識を高めることが極めて重要です。意識を高めるためには、本市の景観資源やその良さを広く浸透させることが不可欠となります。さらに、景観に関する意義や大切さ、知識等を普及させ、意識の高揚を図ることが必要です。

2 玉名市が目指す景観の姿と方針(案)

課題

課題1 見せたい、見てもらいたい景観が効果的に見せられていない

課題2 先人たちが遺してきた景観資源を受け継ぎ、活用していくことが困難になりつつある

課題3 景観に対する興味・関心・問題意識が十分でない

目指す景観の姿

例1
人・自然の営みにより積み重なった景観資源を 大切に守り・伝えるまち

例2
おもてなしが感じられる 味わい深い景観が広がるまち

例3
見る度に良さを実感できる 落ち着いた大人の景観が展開されるまち

○ 玉名市には、以下のような多様な景観がつくられています。

- ・ 小岱山系や金峰山系が育む緑豊かな山林景観
- ・ 美しい有明海と松原海岸の海浜景観
- ・ 約330年もの長い年月かけて築造された干拓地の文化的景観
- ・ 商人のまちとして栄えてきた商店街と高瀬裏川の景観
- ・ 稜線が美しい山並みを望む玉名平野からの眺望景観
- ・ 春夏秋冬の伝統行事による非日常の景観
- ・ あらゆる恵を与えてくれた菊池川が見せる景観
- ・ 雄大な農地が広がる美しい田園景観
- ・ 丘陵地帯の特性を生かした石積みのみかん畑の景観
- ・ 1300余年の歴史を持つ玉名温泉を活用した温泉街のまちなみ景観
- ・ 玉名平野を眼下に、遠景の雲仙普賢岳を望む絶景の眺望景観
- ・ 新しい市街地形成が期待される新玉名駅の周辺景観

○ 本市の景観は、自然環境を活かした文化や産業、市民の日常生活からにじみ出た落ち着いた景観が広がっています。また、訪れる度に良さを実感していく味わい深い魅力があり、これが本市の特徴・らしさとなっており、今後も大切にしていきたいと考えています。

○ また、こうした景観は、先人たちの活躍によりつくり、守られ、今日の“玉名市の景観”として目に見えています。私たちが、これを本市の宝として受け継ぎ、未来に伝えることは使命であり責任です。

○ この受け継いだ宝“玉名市の景観”をより良くし、未来へつなぐためには、みんなが景観について興味や関心、問題意識を持ち、市民・事業者・行政が一丸となってまちづくりを進めていくことがとても大切です。

○ そのため、「(将来の姿)」を目指す景観の姿として掲げ、誰もが玉名の良さを実感できる景観づくりを目指します。

方針1 玉名を魅せる場所づくり

- 良い景観を望むことができる視点場(眺望点)の掘り起こしや設定
- 周辺の雰囲気づくりなど、まちの特徴に合ったしつらえを整えた「魅せる」景観づくり

方針2 玉名の景観を守り・育て・活かす担い手づくり

- 景観まちづくりに取り組まれている個人・団体が担い手となり、その活動を行政がサポート
- 担い手の裾野を広げ、育てる取り組み

方針3 みんなが誇りを持てる景観の意識づくり

- 市民の景観への興味・関心を高め、問題意識を共有し、景観に対する理解や意識の高揚を図る
- 身の丈にあった景観形成の作法(きまり)を定める

■3つの方針の関係性

【方針1】
玉名を魅せる場所づくり

↓ 戦略的に景観を魅せることで意識づくりにつながる

【方針3】
市民が誇りを持てる景観を実現する意識づくり

担い手との連携につながる

【方針2】
玉名の景観を守り・育て・活かす担い手づくり

↓ 活動が意識づくりにつながる

意識づくりが新たな担い手を生む